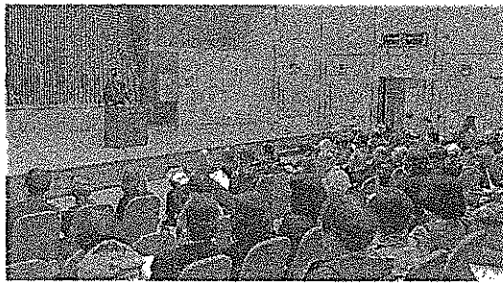


戦争も改憲もいけな

静岡で講演会 五十嵐氏 署名訴え

静岡市清水区で6日、安保法制(戦争法)廃止の2000万署名を推進しようと、五十嵐仁・元政法大学教授



戦争法廃止2000万署名を推進する講演会で、五十嵐氏の話聞く参加者ら。6日、静岡市清水区

を迎えた憲法講演会が行われ、150人が参加しました。

呼びかけ人には、元清水商工会議所副会長、富士ロジテック役員、元大学教授、住職、社会福祉法人理事長、元自治会長など多様な分野の人々と、党派を超えた現職・元職の県

広げよう 2000万署名

議・市議の37人が名を連ねています。

講演会では呼びかけ人の白井孝一(県弁護士9条の会共同代表)、内田進(民主党系元市議)、石垣鈴江(清水女性9条の会)、松島恵定(禅洞寺住職)、花井征一(日本共産党元県議)の各氏がいさつしました。

白井氏は「自民党は人間が生まれながらも改憲で制限しようとしている。戦争法も改憲も許してはいけません。内田氏は「私は戦争で家は焼かれ、食

べ物もない、みじめな状況を体験した。戦争で一番被害をうけるのは子どもたち。子どもたちを幸せにするのがおとなの責任。戦争法廃止へ一緒にがんばる」と述べました。

講演で五十嵐氏は、憲法は権力を縛るものと強調、「参院選で5野党合意が実現し、安倍政治を許すのか許さないのか、対立軸が明確になった。現代の市民革命が始まろうとしている。2000万署名を広げ、戦争法廃止の世論を広めていこう」と訴えました。

参加した前田和子さん(70)は「署名をきっかけとして対話し、相手に考え方を教えてもらうという話がすごく心にのこった。積極的にいろんな人に呼びかけないといけないですね」と語りました。